

第3章

豊島区教育ビジョン (平成19年3月策定)の実施状況

第3章 豊島区教育ビジョン（平成19年3月策定）の実施状況

本区では、目指すべき子ども像の実現と中期的視点にたった教育改革の実現に向け、平成19年3月に「豊島区教育ビジョン」（現行教育ビジョン）を策定し、様々な課題の解決に取り組んできた。

現行教育ビジョンでは、「施策ごとに成果指標を設定し、計画全体の進捗状況は毎年度確認し、結果については教育委員会の重点目標の改訂や教育ビジョンの見直しの際に活用することとしている。

成果指標の達成状況に関しては、児童・生徒の「確かな学力」の育成に進展が見られたこと、「豊かな人間性」の育成に保護者の高い評価を得てきたことなど、一定の成果を挙げることができた。

しかしながら、施策を構成する個々の要素の中には、例えば、読書について「小学生が自ら進んで読書する態度が十分確立されなかったこと」、また、体力については「全国的な比較や経年の推移から、体力の低下が改善されなかったこと」など未達成の課題も残されている。そのため、これまでと同様の取り組みでは、計画の期間（平成19年度～平成23年度）内に目標を達成できない懸念も生じている。

また、計画全体の進捗状況の確認方法にも課題がある。課題の一つめは、学校の実態に応じて展開する実施施策の達成度に対する判断基準が統一されていなかったことであり、二つめは、教育委員会が主体的に実施する事業の実績が集約されていなかったことである。

そこで計画の見直しにあたり、施策別の成果指標の達成状況、学校等の協力による「豊島区教育ビジョン達成度調査」と合わせて、改めて実施施策の事業実績（巻末＜参考＞参照）を洗い出し、評価を行った。

以下は、成果指標の達成状況と実施施策の今後の方向性をまとめたものである。

なお、新教育ビジョンにおける成果指標は、現行の成果指標を精査して重点となる施策を中心に設定することとし、第7章に掲げる。

成果指標の達成状況の見方

- : 目標値に対する指標値の上昇率が50%以上であるもの
- △ : 目標値に対する指標値の上昇率が50%未満のものがあるもの
- × : 指標値が当初値より下がったもの
- ※ 図表内のゴシック文字は成果指標を超えたもの

I 教育内容の充実

1 「確かな学力」の育成

(1) 成果指標の達成状況

- 国語の読解力、算数・数学の思考力については、おおむね、着実に向上し、中学校ではすでに成果指標を超えている。
- △ 本を読むのが好きな子どもの割合は、中学校では成果指標を超えたが、小学校では平成20年度が、やや下がっている。

<図表 12> 「確かな学力」の育成に関する成果指標と達成状況

成果指標	当初値	達成状況		目標
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成23年度
国語読解力 (小学校)	67.7%	79.6%	69.6%	70.0%
国語読解力 (中学校)	58.8%	68.0%	63.7%	61.0%
算数思考力 (小学校)	63.6%	62.7%	64.6%	66.0%
数学思考力 (中学校)	55.3%	35.8%	59.4%	57.0%
本を讀むのが好きな児童の割合 (小学校)	83.8%	85.9%	81.8%	86.0%
本を讀むのが好きな生徒の割合 (中学校)	71.9%	73.5%	77.8%	74.0%

- ※ 上4段は、区で実施する「基礎的・基本的な内容の定着を図るための調査」において、目標とする得点を達成した児童・生徒の割合
 ※ 下2段は、区で実施する「学習スキルに関する調査」において、本を読むのが「とても好き」「どちらかというが好き」と回答した児童・生徒の割合

(2) 実施施策の今後の方向性

<図表 13> 「確かな学力」の育成に関する実施施策の今後の方向性

施策の方向	実施施策	今後の方向性
(1) 各教科等における基礎・基本の定着	① 学力定着状況の把握と授業改善推進プランの活用	継続
	② 学習方法等の改善	継続
	③ 土曜補習の実施	生徒の実態に合わせ、よりきめ細かな指導を可能にする方法に見直し、実効性を高める。
(2) 国語力の育成	① 国語教育における基礎・基本の定着	継続
	② 読解力の定着	継続
	③ 表現力の向上	継続
	④ 読書活動の推進	継続
(3) 理数教育の充実	① 理数教育における基礎・基本の定着	継続
	② 大学との連携による理数教育の推進	継続
	③ おもしろサイエンスワールドの充実	教科との関連性の構築や学習活動への発展に課題があり廃止する。
	④ 理科支援員の活用	継続
(4) 外国語教育の充実	① 小学校英語活動の推進	継続
	② コミュニケーション力の育成	継続
	③ 中学校へのALT派遣の充実	継続
	④ 小・中学校の円滑な接続	継続

2 豊かな人間性の育成

(1) 成果指標の達成状況

- 「児童・生徒が明るくのびのびと生活している」「人権に配慮した教育活動が行われている」と回答する保護者の割合は、増えている。

<図表 14> 豊かな人間性の育成に関する成果指標と達成状況

成果指標	当初値	達成状況	目標
	平成17年度	平成20年度	平成23年度
児童・生徒が明るくのびのびと生活していると回答する保護者の割合	90.9%	91.9%	94.0%
人権に配慮した教育活動が行われていると回答する保護者の割合	81.8%	83.2%	84.0%

※ 「豊島区立学校の教育活動等に関する評価」において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合

(2) 実施施策の今後の方向性

<図表 15> 豊かな人間性の育成に関する実施施策の今後の方向性

施策の方向	実施施策	今後の方向性
(1) 心の教育の充実	①人権教育の充実	継続
	②道徳教育の充実	継続
	③生活指導の充実	継続
	④ボランティア体験活動の推進	継続
	(2) キャリア教育の推進	
(2) キャリア教育の推進	①小・中学校における指導の充実	継続
	②キャリアカウンセリングの充実	継続
	③小・中学校の接続	継続
	④上級学校・地域・関係諸機関との連携	継続
(3) 文化の担い手の育成	①情操教育の推進	継続
	②国際教育の推進	継続
	③日本の伝統・文化理解教育の推進	継続
	④次世代文化の担い手の育成	継続
	⑤文化系部活動の充実	継続
(4) 環境教育の推進	①「地球にやさしい」活動の推進	継続
	②自然体験の充実	継続

3 しなやかな心と体の育成

(1) 成果指標の達成状況

- × 中学校は、体力テストで都平均を下回る種目が5種から4種へと減少したが、小学校は、4種から6種へと増えている。
- 肥満傾向、う歯の未処置がある児童・生徒の割合は、小・中学校ともに減少している。小学校においては、すでに成果指標を達成している。

<図表 16> しなやかな心と体の育成に関する成果指標と達成状況

成果指標	当初値	達成状況	目標
	上2段：平成17年度 下2段：平成18年度	上2段：平成19年度 下2段：平成20年度	平成23年度
児童の体力テスト調査結果（小学校）	8種目中、4種目で都平均値を下回る学年がある	8種目中、6種目で都平均値を下回る学年がある	すべての種目において都平均値を上回る
生徒の体力・運動能力調査結果（中学校）	8種目中、5種目で都平均値を下回る学年がある	8種目中、4種目で都平均値を下回る学年がある	すべての種目において都平均値を上回る
肥満傾向の児童の割合（小学校）	5.5%	3.1%	4.5%以下
う歯の未処置がある児童の割合（小学校）	23.3%	20.8%	21.0%以下
肥満傾向の生徒の割合（中学校）	2.8%	2.6%	2.0%以下
う歯の未処置がある生徒の割合（中学校）	20.4%	20.2%	18.0%以下

- ※ 上2段は、「豊島区立小・中学校児童・生徒の体力・運動能力調査（報告）」より
- ※ 8種目は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン（中は持久走）、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ（中はハンドボール投げ）
- ※ 下2段は、「区の定期健康診断結果」より

(2) 実施施策の今後の方向性

<図表 17> しなやかな心と体の育成に関する実施施策の今後の方向性

施策の方向	実施施策	今後の方向性
(1) 体育・健康教育の充実	① 体育活動の充実	継続
	② 健康教育の推進組織の設置	継続
	③ 健康課題に関する指導の充実	継続
(2) 食育の推進	① 食育推進の校内体制の整備	継続
	② 食育研修会の開催	継続
	③ 食育推進パンフレットの作成	継続
(3) 体力の向上	① 親子体力テストなどによる啓発	継続
	② 体育的行事の充実	継続
	③ 運動系部活動の充実	継続

II 教育環境の充実

1 教師力の向上

(1) 成果指標の達成状況

- 都・区が実施する教員研修延参加人数については、成果指標を超えている。
- 「児童・生徒は学校での学習内容を理解している」と回答する保護者の割合は、成果指標に近づいている。

<図表 18> 教師力の向上に関する成果指標と達成状況

成果指標	当初値	達成状況	目標
	上段：平成18年度 下段：平成17年度	平成20年度	平成23年度
都・区が実施する教員研修延参加人数（長期休業期間中）	863名	988名	900名
児童・生徒は学校での学習内容を理解していると回答する保護者の割合	78.1%	79.1%	80.0%

※ 上段は区の集計データ

※ 下段は、「豊島区立学校の教育活動等に関する評価」において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合

(2) 実施施策の今後の方向性

<図表 19> 教師力の向上に関する実施施策の今後の方向性

施策の方向	実施施策	今後の方向性
(1) 授業力の向上	① 研修体系の整備・改善	継続
	② 名人先生の活用	継続
	③ 学習指導専門員による巡回指導	継続
	④ 大学との連携による研修内容の充実	継続
	⑤ 幼稚園、小・中学校 教育研究活動の充実	継続
(2) 幼稚園、小・中学校連携の推進	① 小・中学校一貫カリキュラムの開発	継続
	② 専門性を生かした授業交流	継続
	③ 学校行事における交流	継続
	④ 幼稚園、小・中学校 合同教育研究会の実施	継続

2 信頼される学校教育、学校運営の推進

(1) 成果指標の達成状況

- × 区立小学校入学率は、減少している。
- 区立中学校入学率は、成果指標を超えている。
- 「学校施設や通学路が安全である」と考える区民の割合は、上昇している。
- △ 「学校の教育活動について全体的に満足している」と回答する保護者の割合は、微増である。

<図表 20> 信頼される学校教育、学校運営の推進に関する成果指標と達成状況

成果指標	当初値	達成状況	目標
	上2段：平成18年度 3段目：平成17年3月 下段：平成17年度	上2段：平成20年度 3段目：平成20年3月 下段：平成20年度	平成23年度
区立小学校入学率	90.2%	85.4%	93.0%以上
区立中学校入学率	61.9%	64.9%	64.0%以上
学校施設や通学路が安全である と考える区民の割合	22.6%	26.4%(学校施設) 23.0%(通学路)	
学校の教育活動について 全体的に満足している と回答する保護者の割合	87.7%	87.8%	90.0%

- ※ 上2段は、区の集計データによる、学齢に達した子どもが、区立小学校及び区立中学校に入学する割合
- ※ 3段目は、「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より
- ※ 下段は「豊島区立学校の教育活動等に関する評価」において、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合。

(2) 実施施策の今後の方向性

<図表 21> 信頼される学校教育、学校運営の推進に関する実施施策の今後の方向性

施策の方向	実施施策	今後の方向性
(1) 特色ある教育活動の推進	① スクールスタッフ派遣の充実	継続
	② 水曜トライアルスクールの充実	学校の特色を生かせるよう実施方法を見直す。
	③ スーパースクール開設の検討	検討の結果、公平性・地域性等に問題があるという結論に達したため廃止する。
	④ 総合的な学習の時間の充実	継続
	⑤ 情報教育の充実	継続
(2) 開かれた学校づくりの推進	① 学校運営連絡協議会の充実	継続
	② 内部評価と外部評価の公表・活用	継続
	③ 学校評価を活用した授業力の向上	継続

(3) 地域人材・施設活用の推進	
①地域の教育力の活用	継 続
②放課後子ども教室の推進	継 続
③区立図書館との連携	継 続
④交流による部活動の活性化	継 続
⑤大学等との連携による人材活用	継 続
⑥高校生による教育活動への参加	継 続
(4) 特別支援教育の推進	
①特別支援教室の設置・支援体制の確立	継 続
②指導内容・指導方法の充実	継 続
③就学相談の充実	継 続
(5) 教育相談の充実	
①カウンセリングの充実	継 続
②スクールカウンセラーの拡充	継 続
③いじめの早期発見と迅速な対応の推進	継 続
④適応指導教室・日本語指導教室の充実	継 続
(6) 安全対策の推進	
①安全指導の充実	継 続
②セーフティ教室の充実	継 続
③地域ボランティア、警察との連携	継 続

